

平成30年度

# 予算書

平成30年3月22日

## 資料目次

1 平成30年度予算編成について	-1・2-
2 収支予算書	
(1)収支予算書(正味財産増減予算書)	-3-
(2)収支予算内訳表(正味財産増減計算書内訳表)	-4-
(3)資金調達及び設備投資の見込みについて	-5-
3 事業計画書	
(1)平成30年度事業計画	-6・7・8・9-
(2)平成30年度「物品預託と払出」計画	-10-
(3)平成30年度「ボランティア活動」計画	-11-

公益社団法人 熊本善意銀行

## 平成30年度予算編成について

### —はじめに—

平成28年4月の熊本地震時は、震度4以上の地震発生が1カ月間に120回あったものが、平成29年は5回と減少しています。熊本地震で大きな被害を受けた長陽大橋ルートが、昼夜24時間体制で復旧作業を進めた結果、平成29年8月27日に応急復旧工事が完了し、開通しました。熊本市など都市部と村中心部の間や、南阿蘇村と分断されていた立野地区との間が、1年4カ月ぶりにほぼ最短ルートでつながり、復興が進むものと期待されています。

しかしながら、建設型仮設住宅は平成29年12月末現在、3,754戸(9,564人)、借上型仮設住宅は13,335戸(29,979人)が入居している状況です。平成29年7月に行ったみなし仮設住宅に入居している人への健康調査では、全体の69.2%が「健康は良い」と回答していますが、全体の61.0%が病気を持っており、全体の33.4%が「あまり眠れなくなった」と回答しています。社会的弱者と言われる方たちも、精神的に落ち着かないとの話もあります。

平成30年度も引き続き、仮設住宅や社会福祉関係の催事等をより一層支援し、元気な地域社会や福祉を取り戻したいと考えています。

半世紀以上の永い年月を「こころの架け橋」として運営できましたのも、「県民からの善意の預託」「会員企業の皆様」「善銀パートナー様」の支援があればこそ、心から感謝申し上げます。さらに「公益社団法人」としての自覚をもって社会福祉事業の充実・強化・拡充を図ります。

### —概要と考え方—

熊本県内の景気は、熊本地震の復興需要で穏やかに回復しています。住宅建設も着工遅延が続いているものの、平成29年度の設備投資は増加傾向にあり、企業収益は減益見通しですが、企業の景況感は上昇傾向にあります。このような環境の中、当行の平成29年度の受取寄付金は個人の大口寄付があり前年度予算に近づきました。そこで、平成30年度予算は平成29年度予算とほぼ同等の編成といたしました。同時に公益社団法人に求められる収支相償、公益事業比率、遊休財産保有制限の「財務3基準」を遵守し、より一層の安定的な運営を目指します。また、社会的弱者と言われる方たちが、相互に人格と個性を尊

重し支え合い、十分に社会参加できる社会に向け、ソーシャルインクルージョンを理念とした社会環境構築を目指します。

公益目的事業会計と法人会計を合算した総経常収益は23,001千円（前年度予算23,601千円）で、前年度予算比97.5%の予算としました。また、総経常費用は24,205千円（同24,920千円）で、前年度予算比97.1%としました。総当期経常増減額は▲1,204千円（同▲1,319千円）としました。

熊本善意銀行は、温かい心をもって地域に根差した社会福祉事業に取り組むため、以下のような法人会計と公益目的事業会計の予算といたしました。

#### 《法人会計》

法人会計は、熊本善意銀行の運営維持に必要な基本経費をまかなう会計で、会員の皆さまからの会費収入に支えられております。しかし、収入の半分以上を公益目的事業に充てるため、経常収益予算は8,251千円（前年度予算8,251千円）で前年度予算比100.0%としました。

管理費は、前期同様に費用を公益目的事業と法人事業に分配し、経費削減に努め支出合計は2,689千円（同2,835千円）で前年度予算比94.9%、当期経常増減額は5,562千円（同5,416千円）としました。

#### 《公益目的事業会計》

公益目的事業会計は、善意銀行の社会福祉活動の根幹を表す会計です。その収入は、広く県民から寄せられる“善意”の預託金です。これに会費収入の50%が加わり、14,750千円（前年度予算15,350千円）で前年度予算比96.1%の予算といたしました。

公益目的事業は、従来の地域ボランティア活動支援や「小・中学校への車いす贈呈」、「100歳到達者の表彰」、「青年海外協力隊員への郷土紙送付」などこれまで通り行っていきたいと思っております。さらに、障がい者福祉・児童福祉・老人福祉等の払い出し申請に基づく公益事業予算は、新聞・ラジオ・ホームページ等を活用し広く門戸を開いて、ケースに応じて柔軟に対応していきたいと考えております。事業費は21,516千円（同22,085千円）で前年度予算比97.4%、当期経常増減額は▲6,766千円（同▲6,735千円）となり収入を上回る払い出しとしました。

平成30年度 収支予算書(正味財産増減予算書)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位: 千円)

科目	当年度	前年度(予算)	増減	前年度比
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
①受取会費	16,500	16,500	0	100.0
②受取寄付金	6,500	7,100	-600	91.5
③雑収益	1	1	0	100.0
経常収益計	23,001	23,601	-600	97.5
(2)経常費用				
事業費(公益)	21,516	22,085	-569	97.4
管理費(法人)	2,689	2,835	-146	94.9
経常費用計	24,205	24,920	-715	97.1
当期経常増減額	-1,204	-1,319	115	91.3
2.経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0	
経常外収益	0	0	0	
(2)経常外費用	0	0	0	
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-1,204	-1,319	115	91.3
一般正味財産期首残高	22,545	22,371	174	100.8
一般正味財産期末残高	21,341	21,052	289	101.4
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	21,341	21,052	289	101.4

※災害救援に関連する支出は、予算額を超えて執行することができる。

※一般正味財産期首残高の金額は予算策定時の推計値です。

平成30年度 収支予算内訳表(正味財産増減計算書内訳表)  
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	8,250	8,250		16,500
受取会費	8,250	8,250		16,500
② 受取寄付金	6,500			6,500
受取寄付金	6,500			6,500
③ 雑収益	0	1		1
受取利息	0	1		1
経常収益計	14,750	8,251		23,001
(2) 経常費用				
事業費	21,516	0		21,516
役員報酬	299	0		299
給料手当	4,781	0		4,781
臨時雇用賃金	717	0		717
福利厚生費	101	0		101
旅費交通費	491	0		491
通信運搬費	432	0		432
消耗品費	916	0		916
印刷製本費	243	0		243
広告宣伝費	1,540	0		1,540
賃借料	900	0		900
会報発行費	466	0		466
支払助成金	4,169	0		4,169
障害者福祉	756	0		756
児童福祉	2,143	0		2,143
災害見舞い助成	400	0		400
各種団体助成	870	0		870
チケット購入費	400	0		400
記念品購入費	2,242	0		2,242
新聞代・送料	1,062	0		1,062
車いす購入費	1,170	0		1,170
毛布購入費	709	0		709
減価償却費	646	0		646
雑費	232	0		232
管理費	0	2,689		2,689
役員報酬	0	61		61
給料手当	0	979		979
臨時雇用賃金	0	147		147
福利厚生費	0	49		49
旅費交通費	0	100		100
通信運搬費	0	89		89
消耗品費	0	108		108
印刷製本費	0	42		42
広告宣伝費	0	315		315
賃借料	0	184		184
会報発行費	0	96		96
減価償却費	0	133		133
雑費	0	386		386
経常費用計	21,516	2,689		24,205
当期経常増減額	-6,766	5,562		-1,204
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0		0
経常外収益	0	0		0
(2) 経常外費用	0	0		0
経常外費用	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	-6,766	5,562		-1,204
一般正味財産期首残高	-	-		22,545
一般正味財産期末残高	-	-		21,341
II. 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0		0
III. 正味財産期末残高	-	-		21,341

## 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日中に資金調達の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の内容	支出予定額 (税込み)	資金調達方法
設備投資の予定はありません	—————	—————

# 平成30年度事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年度は前年度と同程度の事業計画としました。基本的な助成も例年通りの計画とし(1)障がい者や児童福祉、災害見舞助成、各種団体への助成、(2)百歳を迎えたお年寄りや施設児童・交通遺児の進学・卒業祝い、学校への車いす寄贈などの物品助成、(3)登録ボランティア団体の活動の橋渡し、といった中核事業を引き続き推進していきます。県内のよりきめ細やかな社会福祉貢献のため「善銀パートナー」を推進し、サポート体制の強化を図ります。

広報面では、事業の活発化と公平性を保つために、新聞とラジオのほかホームページをより充実させ、啓発活動に力を入れていきます。

## 1、[公益目的事業]

地域社会が直面する問題の改善を目的として事業を行う団体・個人に金銭助成や物品支援を行います。

「事業内容」	「備考」
<p>助成事業：公1事業</p> <p>① 障がい者福祉助成 (756 千円)            ・ダウン症児(者)の療育訓練へ助成。            ・脳性マヒ児の「心理療育キャンプ」などに助成。            ・上記以外に障がい者福祉関係のスポーツ・対外研修などが増加</p> <p>② 児童福祉助成 (2,145 千円)            ・グローバルジュニアドリーム事業 (5名分)            ・ひとり親家庭等の入学祝に助成 (160名分)            ・県母子寡婦福祉連合会「親と子の運動会」に助成。(600名)            ・児童福祉施設の夏季行事に助成。(700名 15施設)など</p> <p>③ 災害見舞助成 (400 千円)            ・災害(火災・水害・地震等)に遭われた家族に見舞金を贈呈</p> <p>④ 各種団体の助成 (870 千円)            熊本いのちの電話、ボランティア団体の支援とその他申請のあった地域福祉団体へ助成</p>	<p>H29年度予算に比べ増額</p> <p>グローバルジュニアドリーム事業 1名分増額</p> <p>H29年度予算と同額</p> <p>H29年度予算とほぼ同額</p>

<p>物品助成：公1事業</p> <p>① チケット等配布（400千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉施設、児童養護施設、身体障がい者支援施設などで日常生活をされている方々に、心のゆとりを持ってもらうことを願い、寄席や歌舞伎等の入場券を贈呈します。</li> </ul> <p>② 敬老の日「百歳到達者」に記念品贈呈：第38回（2,242千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の満百歳を迎える方々に記念品を贈り長寿をお祝いし、併せて千代の園酒造預託の清酒「百歳万歳」も贈ります。</li> </ul> <p>本年の対象者は約700名の見込み。記念品の配送は、熊日輸送センター・熊日販売センターの協力を得て敬老の日前後に自宅または老人施設などへ配ります。</p>	<p>H29年度予算と同額</p> <p>H29年度予算と同額</p>
<p>郷土紙送料（1,062千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本県出身の青年海外協力隊員へ郷土紙送付。（約20名）</li> </ul> <p>熊本県青年海外協力隊の要請により、世界各地の発展途上国で農業指導や技術支援を行っている熊本県出身の隊員たちに、激励の気持ちを込めて郷土紙を送ります。</p>	<p>青年海外協力隊の県出身の隊員減で減額</p>
<p>車いす贈呈（1,170千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、障がいを持つ子どもの中には、養護学校から居住地にある普通校への就学を希望する児童が増えていますが、車椅子配置には文部科学省の予算措置が少ないため当行に支援要請が寄せられています。また、障がいを持たない子どもの総合学習での車椅子体験にも使用されます。</li> <li>・贈呈式は、県内の申請地域に出向いて行います。</li> </ul>	<p>小・中校に約30台</p>
<p>毛布・タオル贈呈（709千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県下の被災者へお見舞いとして毛布を贈呈。</li> <li>・障がい者スポーツ大会参加賞としてタオル約1,000枚を贈呈。</li> </ul>	<p>平成29年度予算とほぼ同額</p>
<p>広告宣伝（1,540千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、団体、企業の社会貢献活動を啓発、啓蒙するとともに、公益活動への関心を高めるため、善銀パートナー制度などについて、下記の媒体を使用し、活動内容を広く訴えます。</li> <li>・新聞広告の掲載、ラジオでの呼びかけ。</li> <li>・ホームページの充実、その他チラシなどの制作。</li> <li>・会報の発行。</li> </ul>	<p>平成29年度予算より減額</p>



## 2、[会務の運営]

総会、理事会、運営委員会等に関する事項

### ① 総会

- ・ 定時総会の開催は、6月に開催。
- ・ 臨時総会の開催は、必要に応じて開催。

### ② 理事会

- ・ 定時理事会の開催は、4カ月を超える間隔で2回以上開催。
- ・ 臨時理事会の開催は、定款14条のいずれかに該当する場合に開催。

### ③ 運営委員会

- ・ 運営委員会は、効果的な事業の推進を図ることを目的に、各種事業の整理・調整を行うため開催（年6回以上）。

### ④ 同種活動団体との連携

- ・ 全国善意銀行連絡協議会が行う総会や理事会に参加し、情報の共有や活動の参考にします。

## 3、[その他の事業]

### ① 支援学校文化作品展の開催

支援学校の生徒の人格と個性を尊重し、可能性を最大限に伸ばせるように、高校文化連盟特別支援学校専門部と一般財団法人熊本公徳会と一緒に「支援学校文化作品展」を開催します。

### ② 障がい者福祉施設販売会（ほっと&ハートマーケット）の開催

上通町の「びふれす広場」にて、障がい者福祉施設が製造している製品の販売会を、平成30年度も一般財団法人熊本公徳会と行います。年4回の開催を予定しており、障がい者福祉施設は無料で広場を利用し、物品販売を行います。

③ 肢体不自由児デジタル写真展に共催

公益社団法人熊本県肢体不自由児協会が主催している、「肢体不自由児デジタル写真展」に平成30年度も共催いたします。本写真展は県内の肢体不自由児を対象にデジタル写真を募集し、肢体不自由児の文化活動を促進すると同時に、一般社会への理解と啓発を促します。また、特別支援学校やこども総合療育センター、希望する肢体不自由学級設置中学校などで巡回展示会を開催します。優秀作品に熊本善意銀行賞を授与します。

④ 預託の拡充

企業、個人からの預託は、新聞・ラジオのほかにホームページでも見ることができます。さらにホームページを充実するなど、多様な広報活動を行い預託の拡充に努めます。新規会員の募集は前記媒体でのPRと、機関紙やチラシ等で勧誘を図っていきます。また、サポーター制度である「善銀パートナー」への参加を呼びかけ、寄付文化の醸成に努めます。

⑤ ボランティア団体等の拡充

現在、39の団体・個人が年間を通じてボランティア奉仕活動をしています。活動の団体などは、その年齢構成が年々高くなってきており、若手のボランティア登録の拡大に努めます。

## 平成30年度「物品の預託と払出」計画

平成30年4月1日～平成31年3月31日

平成30年度の「物品の預託と払出」計画は、平成29年度なみと考えています。

(平成29年度実績参考)

会社名	品名	払出先
江崎グリコ株式会社	お菓子50箱	八代ナザレ園など12施設へ
NHK熊本児童合唱団	入場券20枚	熊本県母子寡婦福祉連合会へ
太江田寿之さん	ミニトマト20箱	阿蘇みやま荘など8施設へ
木下幸一さん	竹とんぼ150本	多良木学園など7施設へ
九州電保労青年委員会熊本支部	もち200個	めぐみ学園・ゆたか学園へ
九州ラーメン党	ラーメン600杯	熊本地震被災者等へ
熊日業務推進局営業企画部	ペンケースなど200セット	熊本県手をつなぐ育成会など2施設へ
	お菓子など25袋	三気の家・きらきら星レジデンス
熊本桜友会	LED灯光器2台	益城町役場・西原村役場
熊本城稲荷神社	御神饌18箱	黎明館・友愛会銀杏寮
熊本市立本荘保育園保護者会他5件	生活用品など13箱	菊池園など9施設へ
熊本そば名店会	新そば100杯	大江学園へ
(株)興農園	花の球根5500球	もみの木園など10施設へ
境勇祐さん他1件	米25 <sup>kg</sup>	翔洋苑・ひかわの里
高橋稲荷神社	御神饌26箱	紅い華など4施設へ
竹内司志さん	演劇入場券10枚	熊本市母子寡婦福祉連合会へ
中央ゴルフ(株)	おもちゃ・ジュース・米など428点	陽光学園など10施設へ
千代の園酒造(株)	清酒「百歳万歳」610本	本年度100歳到達者へ
永田建築他1件	洗剤5箱	有明ホームなど3施設へ
ハッソー株式会社	紙パンツ(おむつ)182箱	みゆき園など22施設へ
東清治さん他1件	110本	なでしこ園など5施設へ
森永和宏さん他7件	玄米690 <sup>kg</sup>	さくら苑など38施設へ
芝原登さん	図書カード1500円分	換金し福祉資金へ
田中一人さん他12件	未使用はがき926枚	
大阪府匿名他3件	未使用切手109547円分	
預託者数162件(延べ257回)	使用済み切手70 <sup>kg</sup>	

## 平成30年度「ボランティア活動」計画

平成30年4月1日～平成30年3月31日

平成30年度の「ボランティア活動」計画は、平成29年度なみと考えております。

（平成29年度実績参考）

奉仕する団体・人	ボランティアの種類	回数	奉仕先
ボランティアグループ和会	演芸	146	菊池老人福祉センターなど
くまもと夢屋座		21	温心館など
熊本市お笑い愛好会		11	ニチイケアセンター保田窪など
菊陽さくら会		8	武蔵ヶ丘病院など
くまもと花園ひよっこ会		7	三和荘など
肥後黒髪ひよっこ会		5	江津しょうぶ苑など
熊本民踊会		2	デイサービスふれあいなど
みゆき&オートルズ		演奏	9
スマイリー健&アロハ・スター・ハワイアンズ	4		風の木苑など
宇都宮信夫	4		くわみず病院通所リハビリなど
リーフアンサンブルキャラバン	3		デイサービスセンターしみずなど
肥後三姉妹/からしto蓮根	2		リデルホーム黒髪など
アロハG・Bサウンズ	1		コスモスファミリー熊本
熊本奇術クラブ	マジック披露		10
プードル雅子		4	はなその学苑など
プア・ケニケニ	フラダンス	1	ツクイ熊本田井島
トロピカルフラグループ		1	ふれあい
藤乃流由友会	日舞	31	そよかぜなど
明日香会	大道芸	7	託麻西校区夏祭りなど
ろごす腹話術くまもと	腹話術	7	慈愛園老人ホームなど
(株)テクノアート	ITリテラシー講座	4	天使園
肥後ちゃんかけごま保存会	伝承芸能	3	八角堂など
ハレルヤ笑いヨガくらぶ	健康体操	3	福まる道場など
ボランティア坊さん	講話・サポーター	18	ケアハウスハーモニーなど
柏原幹治	相撲甚句など	10	湧心苑など
芝原登	使用済み切手整理	10	換金のための仕分け作業
坂井洋子		8	
匿名		2	
合計		342	